

2023年度 編入学選抜 [A日程]

小論文問題

(文学部 総合人文学科)

次の2問のうちの1問を選び、600字程度で答えなさい。

- ① 宗教改革期に自由意志(*liberum arbitrium*)の問題は激しい論争の的となりました。特にエラスムスとルターの間で交わされた「自由意志論争」が有名ですが、両者の主張の相違点はどこにあったか、またこの論争がその後の教会史にどのような影響を及ぼしたかを述べなさい。
- ② 外見至上主義と訳される「ルッキズム」は2000年頃から学術研究のテーマとなっていますが、様々な外見的特徴に基づいて人々を区別することに対する議論は「ルッキズム」という言葉が使われる以前から展開されてきました。今日「ルッキズム」が注目されるようになったのはなぜでしょうか、その社会的背景について述べなさい。

注意

- (1) 答案用紙には受験学科・受験番号だけを記入し、氏名は絶対記入しないこと。
- (2) 答案は横書きとし、問題の字数に従い解答すること。
- (3) 答案は1行目から本文を書き始め、問題は書かないこと。